

さりげなく、ともに生きる!!  
「おもいやりの町、しもすわ」をめざして。

2016年5月号  
No.227

# 社協だより

発行人・渡邊末廣 編集・社会福祉法人下諏訪町社会福祉協議会



下諏訪町社会福祉協議会  
キャラクター  
オルニコンちゃん

## 下諏訪町社会福祉協議会 理事会・評議員会

平成28年度の事業計画、予算などを3月29日(火)、住民の皆様の代表者で組織されている理事会、評議員会にてご審議をいただき、承認していただきました。

### 1、平成28年度 基本方針（抜粋）

下諏訪町は、高齢化率が高くなってきています。その中で、ひとり暮らし世帯や高齢者のみの世帯も増加しています。近年は、認知症による帰宅困難や高齢者等の孤立死が社会問題となってきています。国及び全国社会福祉協議会の基本方針並びに下諏訪町の「第7次総合計画」及び「高齢者福祉計画」の見直しの中で触れられている「地域づくりへの参画」「住民主体の地域包括ケアシステムの推進」「新たな地域支援事業（総合事業）への取り組み」等について、既存事業との係わりなど検討し、ともに支え合える地域づくりに向けて、行政・福祉関係機関との連携を図りながら邁進してまいります。本年度は、総合事業への移行の取り組みとして、「生活支援コーディネーターと協議体による地域支援事業」「認知症地域支援推進員等設置促進事業」「認知症初期集中支援チーム設置促進事業」を実施していきます。

また、地震、集中豪雨や土砂災害等に備えて、非常時用品の整備や備蓄、災害弱者に対する支援が重要であり、ボランティアの育成も含めて、これらに対応することも社会福祉協議会の役割だと考えます。

会費の減収など、運営面でも厳しさがありますが、地域社会とのつながりを大切に、『さりげなく、ともに生きる!!「おもいやりの町、しもすわ」をめざして』をスローガンに、地域力の向上に努めてまいります。



ふれあいにここにご買い物バス

## 社会福祉法人 下諏訪町社会福祉協議会の役員及び評議員の皆様です。平成28年4月1日現在

役職名	氏名	属職名	役職名	氏名	属職名	役職名	氏名	属職名
顧問	青木 悟	町長	監事	吉澤 計一	町会計管理者	評議員	濱 康幸	町商工会議所会頭
会長	渡邊 末廣	学識経験者	評議員	小沢 貞義	町教育長	評議員	本山 公之	町青少年健全育成協議会会長
副会長	一村 幸正	町福祉委員協議会会長	評議員	山田 英明	町総務課長	評議員	河西 敏夫	町立小中学校校長会会長
副会長	志村 美津子	学識経験者	評議員	高橋 良司	町教育こども課長	評議員	吉澤 正彦	町衛生自治会連合会会長
常務理事	増澤 功生	町健康福祉課長	評議員	唐木 賢伸	町福祉委員協議会専門部長	評議員	森 聡	町医師会幹事
理事	青木 利子	町議会生活文教常任委員長	評議員	中山 妙子	町福祉委員協議会専門部長	評議員	浜 元雄	町歯科医師会幹事
理事	小松 新平	町福祉委員協議会副会長	評議員	有賀 せつ子	町福祉委員協議会専門部長	評議員	吉澤 和治	町立保育所保護者会連合会
理事	大橋 みつる	町福祉委員協議会副会長	評議員	田中 幹三	町福祉委員協議会専門部長	評議員	藤森 勝美	諏訪地区保護司会下諏訪分区長
理事	小日向 和彦	町ボランティア連絡協議会会長	評議員	久保田 昭	第1区 区長	評議員	小松 保美	町遺族会会長
理事	小松 裕子	町教育委員会委員長	評議員	高木 利幸	第2区 区長	評議員	松尾 則子	町更生保護女性会会長
理事	金丸 芳久	町区長会長	評議員	南澤 守	第4区 区長	評議員	吉江 和雄	町手をつなぐ育成会会長
理事	帯川 清長	町区長会副会長	評議員	藤原 均	第5区 区長	評議員	高木 寛子	町内の介護保険事業所利用関係者代表
理事	武居 洋子	町連合婦人会会長	評議員	丸野 芳一	第6区 区長	評議員	小松 志津	町保健指導委員会連合会会長
理事	宮坂 邦彦	町高齢者クラブ連合会会長	評議員	高木 和年	第7区 区長	評議員	小林 美貴	特養老グレイスフル下諏訪施設長
理事	朝貝 芳美	信濃医療福祉センター所長	評議員	中村 文人	第8区 区長	評議員	沖山 亘	ハイム天白所長
監事	河西 猛	町議会議員	評議員	小田切 博樹	第10区 区長			

# 平成28年度下諏訪町社会福祉協議会予算について

単位 千円

収入の部

拠点区分 勘定科目	社会福祉事業会計					公益事業会計	
	法人本部 拠点区分	生活応援 センター 拠点区分	介護保険 事業所 拠点区分	障がい福祉 サービス 拠点区分	老人福祉 センター 拠点区分	地域包括 支援センター 拠点区分	社協公益 拠点区分
会費収入	1,977	5,023	-	-	-	-	-
寄附金収入	2,200	-	-	-	-	-	-
町補助金	7,327	816	1,500	4,133	3,421	-	-
共同募金	-	1,930	-	-	-	-	-
町受託金	-	6,500	265	-	324	71,352 (内、広域連合か ら533,747)	14,153
事業収入	-	2,500	-	-	2,101	-	-
介護保険 事業収入	-	-	74,173	-	-	12,000	-
障がい福祉 サービス 等事業収入	-	-	-	11,309	-	-	-
その他	670	608	236	-	58	-	-
合計	12,174	17,377	76,174	15,442	5,904	83,352	14,153
総合計							224,576

支出の部

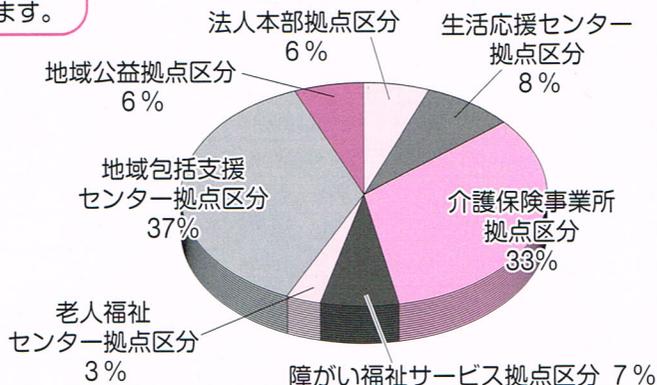
拠 点 区 分	
法人本部拠点区分 湯めぐりばす・生活困窮者事業・区、学校、福祉関係団体に対する助成・法人運営など	13,731
生活応援センター拠点区分 ひとり親家庭応援事業・障がい者社会参加事業・ボランティア活動推進事業・共同募金事業・福祉有償運送事業・在宅介護支援センター事業・福祉相談事業・高齢者福祉事業・福祉資金貸付事業、有償生活応援サービス事業	17,377
介護保険事業所拠点区分 居宅介護支援事業・訪問介護事業・訪問入浴介護事業・高齢者サポート事業	74,617
障がい福祉サービス拠点区分 障害者総合支援法の事業・指定特定相談支援事業	15,442
老人福祉センター拠点区分 認知症の早期発見をし、医療や介護サービスにつなげます。	5,904
地域包括支援センター拠点区分 介護予防事業（一次、二次）・介護予防プラン作成委託・認知症初期集中支援チーム設置促進事業など	83,352
社協公益拠点区分 生活支援体制整備事業・認知症地域支援ケア向上推進事業・認知症サポーター等養成事業・家族介護者交流事業	14,153
総合計	224,576

住み慣れた町で安心して暮らし続けるためには、どうしたらいいのかを、皆様と一緒に考えて、整備していきます。



「おもいやりのまち、しもすわ」を目指して、取り組んでまいります。よろしくお願いいたします。

〈拠点区分支出割合〉

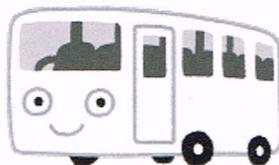


詳細につきましては、社協ホームページをご覧ください。事務所までお問い合わせください。

# 湯めぐりバス ぜひ!!ご利用ください

運行日：毎週木曜日 運賃：無料

利用できる方：  
 ・町内在住の60歳以上の人  
 ・障がいのある人  
 ・3歳未満の乳幼児及びその保護者  
 ※付添いの方は1人同乗できます



運行経路：午前9時 社協発 → 登録者の状況に合わせて設けた停留所を回りながら、町内の公衆浴場をめぐります。

めぐる浴場：みなみ温泉 湖畔の湯 老人福祉センター 矢木温泉 新湯  
 且過の湯 遊泉ハウス児湯 菅野温泉  
 高浜健康温泉センター ゆたん歩°

申し込み先及びお問い合わせ：社協生活応援センター TEL 27-8886

## 募集中!

## 社協健康教室ご参加お待ちしております



5月

講師：講座① 講師：いざわトータルケア 講座② 講師：社協職員  
 開催時間：午後1時30分～午後2時30分 ※事前申し込み不要

※祝日及び御柱祭里曳きの期間はお休みにして、別日に他会場と合同となります。

日	曜日	講座①いざわ	講座②社協	日	曜日	講座①いざわ	講座②社協
1	日			16	月		
2	月		第九区公会所	17	火	富部公民館	
3	火			18	水		
4	水			19	木		萩倉公会所
5	木			20	金	菅野町会館	
6	金	赤砂公会所		21	土		
7	土			22	日		
8	日			23	月		高木公民館
9	月		平和館	24	火	社東町公民館	
10	火		社東町公民館	25	水	第九区公会所	
11	水	明新館		26	木		四王公会所
12	木	四王公会所		27	金		清水町公会所
13	金	高木公民館		28	土		
14	土			29	日		
15	日			30	月		
				31	火		

送迎あります  
 13:10 富部公民館  
 13:15 菅野町会館  
 第九区公会所へ

送迎あります  
 13:10 萩倉公会所  
 13:15 町屋敷公会所  
 明新館へ

送迎あります  
 13:10 明新館  
 高木公民館へ

【お問い合わせ】社協・生活応援センター  
 TEL 27-8886

# 下諏訪町ボランティア連絡協議会 講演会を開催しました



## 「東日本大震災から5年目を迎え ～大槌町からの発信～」

講師：大槌町NPO・ボランティア団体連絡協議会 会長 元持幸子さん



震災から5年目を迎えました。

岩手県大槌町で復興に向けて活動している元持さんは、「復興に向けた中で、改めて住民の力を感じた。支援してくださる方にやってもらっただけでなく、自分たちもできることをやろうと動き出した時、その原動力となったものは郷土愛だった。」と話されました。

## 平成28年度 ボランティア連絡協議会の活動がスタートしました!!

平成28年度新役員のみなさん

会長：小日向 和彦 さん (写真左)  
副会長：篠遠 良子 さん (写真中央)  
副会長：古田 美亜子 さん (写真右)



平成28年度 事業計画 ～ボランティア連絡協議会の拡充に向けて～

- (1) ボランティアグループ及び個人ボランティアの育成・促進
- (2) ボランティア学習会・研修会の実施
- (3) 各種福祉行事等への協力及び連絡・調整
- (4) 共同事業の企画・実施
- (5) ボランティアの啓発及び啓蒙
- (6) 災害ボランティアへの協力

